

キャンプ地招致に関する財政支援の充実

奈良県における取組

【担当省庁】 スポーツ庁

1. 「キャンプ地・奈良」の推進

東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地招致活動を積極的・継続的に実施し、出来るだけ早期の招致国決定を目指している。

【キャンプ地招致の効果】

◆国の効果

キャンプ地招致活動の推進により東京オリンピック・パラリンピックをオールジャパンで盛り上げ、大会参加国等との人的・経済的・文化的な相互交流を全国各地に広げる。

◆県の効果

- ・キャンプ(合宿)地招致を契機とした施設の機能向上・発信
- ・日本のはじまり“奈良”の歴史・文化を発信
- ・国際交流による地域の活性化・経済波及効果



【主な取組】

(1) 県・市の広域連携によるキャンプ地招致

奈良県と橿原市、五條市、御所市、葛城市の4市で、スポーツを通じて地域を活性化するための包括協定を締結。

人的・施設面の課題を相互に補完しながら、以下の取組を展開。

①新設された施設(五條市上野公園総合体育館)

を卓球等のキャンプ(合宿)拠点としてPR

- ・シンガポール卓球協会への招致活動
- ・伊藤美誠選手を招いた卓球教室
- ・陝西省とのスポーツ交流(中学生卓球大会)



②4市のスポーツ施設(陸上競技場、体育館等)を

活用した複数競技の招致活動。

- ・オリンピック委員会等の視察受け入れ
- ベルギー、カザフスタン、ブルガリア



(2) 水泳の拠点施設となるスイムピア奈良の活用

設計段階から民間事業者のノウハウや創意工夫が反映され、**競技団体からも高く評価**。

- ①東京パラリンピック(水泳)の有望選手の**競技拠点に決定**
(ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト)
- ②大和郡山市(施設所在)と連携したキャンプ地招致活動の展開
 - ・強化練習を行う海外チーム(シンガポール、香港)の**サポートや交流等**
 - ・**ホストタウンとしての意識醸成**を図るための市民フォーラムの開催



【関係市町村】大和郡山市、橿原市、五條市、御所市、葛城市 他

国にお願いすること

1. キャンプ(合宿)地としての設備整備等への財政支援の充実

- ・東京オリンピック・パラリンピックの基本コンセプトの1つが「**全員が自己ベスト**」であり、全てのアスリートが**最高のパフォーマンス**を発揮できる万全の準備と運営が必要。
- ・このため、競技会場だけでなく**キャンプ地においても**、ナショナルチーム等の**トレーニングに必要な設備・機器等(※)**を整備して**ハイレベルな練習環境を整え**、地域から東京オリンピック・パラリンピックを支えていきたい。

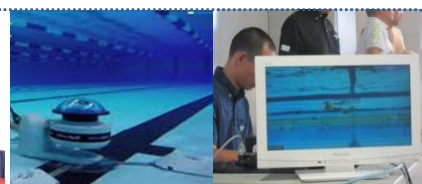
※トレーニングに必要な設備・機器等

競技に使用する設備・機器以外に、

- ①**安全性**を高めるため
 - ②選手の身体の**負担軽減**のため
 - ③選手の**フォームチェック**のため
- 等に**必要な設備・機器**



トレーニング用マット・防球フェンス



水泳フォーム撮影システム

ハイレベルの練習環境を提供するうえで必要となる設備・機器の整備に対する**財政支援(既存制度の対象拡充)**をお願いする。

【県担当部局】 暮らし創造部スポーツ振興課